

提出日：(西暦)

年 月 日

環境アセスメント学会 会長 殿

環境アセスメント学会 入会申込書

会員種別 (いずれかを○で囲んで下さい。正会員・学生会員・協力会員の方は、 <u>生年月も記入</u> して下さい。) ・正会員 ・公益会員 ・賛助会員 ・学生会員 ・協力会員	
フリガナ 会員名： (印)	生年月 (学会名簿には記載しません) (西暦) 年 月 生れ
公益会員・賛助会員の方は、 <u>団体名と担当者氏名の両方を記入</u> して、団体印又は担当者印を押して下さい。 団体名： フリガナ 連絡担当者名： (印)	

下記に記入する a. ~ j. 欄の個人情報に関して、環境アセスメント学会名簿への公開、メール関連の登録、査読引き受け等に対する 可 (○)・否 (×) を必ず記入して下さい。記入のない場合は可とします。

連絡用 E-mail アドレス： (連絡用 E-mail アドレスは、必ず一つにして下さい)	
E-mail アドレスの公開・登録についてお伺いします。	
a. 環境アセスメント学会名簿に公開の可否	a.
b. 会員相互の双方向「会員相互メーリングリスト」への登録の可否	b.
c. 事務局から連絡 (お知らせ) の一方向「事務局連絡用一斉配信メール」の配信の可否	c.
自宅連絡先 (必ず記入して下さい。公益会員・賛助会員を除く)	
住所：〒	d.
電 話： e.	FAX： f.
勤務先又は所属団体の連絡先 (学生会員の場合は、所属大学・研究科を記入して下さい)	
住所：〒	g.
勤務先又は所属団体名：	
部署名、役職名等：	
電 話： h.	FAX： i.
希望連絡先 (いずれかを○で囲んで下さい) ・自宅 ・勤務先又は所属先	
学会誌、投稿論文等に対する査読引き受けの可否	j.
興味のある領域のキーワード (公益会員・賛助会員の場合は団体の対象とする領域) を記入して下さい。 (同上一覧表番号は、添付の「専門・得意領域一覧表」から近いものを選んで記号・番号を記入して下さい)	
専門・得意領域：	
同上一覧表番号：	
関 心 領 域：	

メールまたは F A X、郵便にて、下記までお送り下さい。

- E-mail : office(at)jsia.net
- 郵送先 : 〒101-8301 〒231-0012 神奈川県横浜市中区相生町 5-80 相生ビル3階
環境アセスメント学会 事務局 宛

事務局記入欄 (ここには記入しないで下さい)	受付	年	月	日
会員番号：				

専門・得意領域 一覧表

この一覧表から専門・得意とする分野として近いものの項目番号(A00～L)を選んで会員登録データ確認用紙に記入して下さい。また、近い項目が一覧表に無い場合には、区分記号とキーワードを記入して下さい。

適当な区分が無い場合は、その他の区分記号Lとキーワードを記入して下さい。(複数選択可)

<記入例> 適当な項目がある場合：項目番号を記入。 例：A01, B09

適当な項目が無い場合：区分記号とキーワードを記入。例：A (キーワード), H (キーワード)

適当な区分が無い場合：その他の区分記号Lとキーワードを記入。例：L (キーワード)

区分	番号	項目	区分	番号	項目
大気環境 (A)	A00	大気環境全般	地球環境 (G)	G00	地球環境全般
	A01	大気質調査・予測		G01	地球温暖化
	A02	大気汚染対策		G02	オゾン層の破壊
	A03	騒音・低周波音		G03	熱帯林の減少
	A04	振動		G04	酸性雨
	A05	悪臭		G05	砂漠化
	A06	気象・局地風・風害		G06	生物多様性の減少
	A07	ヒートアイランド現象		G07	海洋汚染
	A08	電波障害・電磁波		G08	有害廃棄物の越境移動
	A09	光害・日照阻害		G09	国際協力
水環境 (B)	B00	水環境全般	安全・リスク (H)	H00	安全・リスク全般
	B01	水質調査・予測		H01	化学プラント等の安全性
	B02	水質汚濁対策		H02	化学物質のリスク評価
	B03	底質		H03	バイオハザード
	B04	地下水		H04	公衆衛生
	B05	水象・水循環		H05	放射線影響
	B06	河川		H06	地震等の自然災害
	B07	海象・波浪・漂砂		H07	リスクコミュニケーション
	B08	海流・潮流	H08	環境マネジメント	
	B09	水温・温排水	地域環境 (I)	I00	地域環境全般
	B10	水資源、水利用		I01	歴史的文化的景観・町並み
B11	温泉	I02		史跡・文化財・歴史的文化的遺産	
土壌環境 その他の環境 (C)	C00	土壌環境全般	I03	伝承文化・伝統文化	
	C01	地形・地質・土壌	I04	コミュニティ施設	
	C02	土地の安定性	I05	集落消失・地域分断	
	C03	土砂流出	I06	住民参加	
	C04	地盤沈下	I07	地域交通・交通安全	
	C05	土壌汚染	環境政策 (J)	J00	環境政策全般
自然環境 (D)	D00	自然環境全般		J01	環境影響評価制度
	D01	植物		J02	環境法
	D02	動物		J03	環境経済
	D03	水生生物		J04	環境政策・環境行政
	D04	生態系		J05	環境教育
	D05	樹林地・緑の量	事業系 (K)	K01	道路
	D06	ミティゲーション		K02	河川工事
触れ合い 活動の場 (E)	E00	触れ合い活度の全般		K03	鉄道・軌道
	E01	景観		K04	飛行場
	E02	触れ合いの活動の場		K05	発電所・電気工作物
	E03	野外レクリエーション地		K06	廃棄物最終処分場・廃棄物処理施設
	E04	身近な自然		K07	埋立・干拓
環境負荷等 (F)	F00	環境負荷全般		K08	面整備・各種土地造成
	F01	廃棄物・発生土		K09	レクリエーション施設
	F02	温室効果ガス等		K10	工場・事業場
	F03	エネルギー		K11	港湾施設・港湾計画
	F04	大気・水質負荷		K12	下水道終末処理施設
				その他(L)	K13